

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	障害福祉課担当課長 中野 さつき		
健福-33	実施事業	障害者施設管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	障害福祉課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	発達支援室
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス	

1 事業の目的

対象	知的障害者、障害児等
意図	知的障害者の日常生活上の支援及び生活能力向上のために必要な支援、並びに就労に必要な支援及び訓練に関する業務を支援するため、障害児等に余暇活動の場を確保することにより、その家族の介護に係る身体的及び精神的な負担を軽減し、障害児等及びその家族の福祉の増進を図るため（発達支援室）。
効果	知的障害者の社会性の向上を図る。 障害児放課後・余暇支援施設の複数整備により、障害児等が安心して活動できる場が拡大するとともに、利用希望者の増加に対応する（発達支援室）。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉はまなみの効率かつ効果的運営を図るため、施設の維持管理及び運営を指定管理者に委託した。 ・鎌倉はまなみについて修繕を実施した。 ・障害児放課後・余暇支援施設の維持管理を行った（発達支援室）。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	47,149	33,014	当初予算(千円)	47,657		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	47,149	33,014	一般財源	47,657		
事業経費	人員配置数	0.5	1.0	人員配置数	1.0		
	人件費(千円)	4,087	7,765	人件費(千円)	7,741		
	総事業費(千円)	51,236	40,779	総事業費(千円)	55,398		
	市民1人当りの経費(円)	290	231	市民1人当りの経費(円)	314		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	指定管理から完全民営化に向け、検討を進める。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input checked="" type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	知的障害者の日常生活上の支援及び生活能力向上や就労のために必要な支援を指定管理により事業を実施してきたところであるが、事業内容が直営で実施する意義が薄れたため民営化に向け、運営方法等を検討する。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	知的障害者の社会性の向上を図るため、指定管理者に委託し事業の効率及び効果的な運営を図り、円滑に実施できた。施設設備の維持修繕を行い、安全に活動できるように努めた。
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	・平成29年度に行った民間運営に係る課題整理では、民間移譲は法的に可能であることから、平成31年度に民間移譲でできるよう検討を進める。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	・指定管理施設「鎌倉はまなみ」の修繕を実施した。 ・民間運営の実施に向けた検討、課題整理を行った。 ・指定管理施設「鎌倉はまなみ」の修繕及び備品購入(買い替え)の予算化を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・残りの修繕と耐用年数経過による備品購入を行う。令和2年度に完全民営化に向けた調整を進める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	
団体名	
他市実績	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉はまなみ運営方法の検討						単位	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)		
民営化も含めた施設運営方法の検討を要するため	目標値	指定管理実施	指定管理実施 次期管理者選定	指定管理実施	指定管理実施 次期運営検討	指定管理実施 次期運営検討	指定管理実施終了 次期民営化		
	実績値	指定管理実施	指定管理実施 次期管理者選定	指定管理実施	指定管理実施 次期運営検討	指定管理実施 次期運営検討			
	達成率	-	-	-	-	-			

指標の内容	鎌倉はまなみ施設利用状況の推移						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
施設利用者数の状況を把握するため(実績値のみ)	目標値	-	-	-	-	-	-				
	実績値	13,584	13,365	13,315	13,450	13,585	-				
	達成率	-	-	-	-						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	鎌倉はまなみは、55人定員規模の通所施設である。のべ利用者数の推移から1日平均すると定員に近い状況(約52人)で利用されている。
-----------------------	--